

千葉県市川市とイッシー・レ・ムリノー市（フランス）が パートナーシティ協定を締結しました

パリ事務所

2012 年 10 月 22 日（月）、イッシー・レ・ムリノー市（以下「イッシー市」という。）において、千葉県市川市とイッシー市の「パートナーシティ締結に関する盟約書」への調印式が行われましたので、ここに報告したいと思います。

1. 市川市・イッシー市の交流のきっかけ

両市が盟約書を締結するきっかけは、イッシー市側から 2008 年に、IT による都市経営や青少年の交流などの分野において、日本の首都圏に位置する都市との交流の意向が伝えられ、クレアパリ事務所がその仲介役として協力することになったことに遡ります。

イッシー市は、パリの南に隣接した人口約 63,000 人の市で、1990 年代半ばから IT 事業に積極的に取り組み、市役所窓口での申請・届出手続の一元管理システムを導入し、IT 分野の取組みで世界的にも知られている自治体です。

イッシー市の希望を日本の首都圏自治体に照会したところ、イッシー市と同じく、電子自治体の取組みを積極的に推進している市川市が関心を示しました。

2009 年 3 月、当時フランス予算・公共部門担当閣外大臣でもあったイッシー市のサンティニ市長が大臣公務で訪日した際に市川市を訪問し、これによって両市長の初顔合わせが実現、お互いの今後の交流に対する意思を確認しました。

同年 4 月には、イッシー市長の招待により市川市長がイッシー市を訪問、まずは行政間交流を進めようという交流合意書に署名したことが、パートナーシティ締結に向けての大きな一歩となりました。

その後は、合意書に基づき行政関係者間の交流が続き、本年 4 月、今回の盟約書の調印に先立って、市川市の大久保市長がイッシー市を訪問し両市長が正式署名について直接協議を行い、それから約半年の期間を経て、今回のパートナーシティ締結となりました。

2. 調印式の様子について

調印式には、市川市の公式市民訪問団やイッシー市民等多くの関係者が出席、イッシー市役所内の市議会議場において、市川市大久保市長と公務のため急遽欠席となったイッシー市サンティニ市長に代わって、セブリニ第一助役が調印式に臨みました。後日、サンティニ市長が盟約書に署名をし、両市で取り交わしました。

この盟約書は、2009 年 4 月に両市が締結した交流合意書の内容を発展させ、両市民の交流をより一層推進し、相互理解を深めることを目的とするものです。

具体的な提携内容は、ICT 施策、花と緑の街施策、文化・芸術の分野における自治体間交流及び青少年並びに市民交流を推進、両市と両市民が相互理解を深めることに努めるこ

ととしています。

市川市の大久保市長は、両市市民による交流の可能性について述べ、イッシー市のセブリーニ助役からは、イッシー市内で市主催による日本語教室が開かれていること、小学校では日本語を教えていることなど、市が実施している日本語学習の取組みが紹介されました。

調印式には、在仏日本国大使館特命全権大使の小松大使も出席され、両市のパートナーシティ締結を祝いました。



調印式を終えての記念写真



記念品を贈り合う大久保市長とサンティニ市長

調印式に引き続き、市役所内のホールでは、イッシー市内の子どもたちが「大きな栗の木の下で」など日本語の歌を 2 曲披露、合流したイッシー市のサンティニ市長をはじめとする式典参加者の拍手を浴びていました。



子どもたちと記念写真

※ 調印式の様子は、イッシー市の地元テレビである IssyTV が取材し、イッシー市のホームページでその映像を見ることが出来ます。

http://www.issy.com/index.php/fr/international/actualites/signature_d_un_accord_de_partenariat_entre_issy_et_ichikawa

3. 両市の今後の交流について

ともにパリと東京という首都に隣接し、IT 分野での先進的な取組みを行っているという共通点から始まった両市の交流です。

パートナーシティ締結後の今後は、花と緑の施策や芸術・文化など、新たな分野での両市のさらなる交流に期待したいと思います。

(小林所長補佐 東京都派遣)